

所 属	科学技術振興センター 企画調整課		
担当(係)名	企画担当	内 線	0583-79-2255

(款) 6 農林水産業費	(項) 3 水産業費	(目) (03) 淡水魚研究費
(明細書事業名) 淡水魚研究所費 河川環境研究所(仮称)整備事業		

#### 1 当初予算(要求)額(千円)

622,302

#### 2 当初予算(決定)額(千円)

477,000

(前年度 1,500)

【財源内訳】

国 庫

141,000

県 債

200,000

一般財源

136,000

#### 3 事業概要

科学技術振興センターでは、河川環境の復元と水生生物資源の保存、水産資源を活用した産業の振興を目的に、自然共生研究センター、国土交通省等と連携しながら希少種等の保護増殖と生息環境の保全研究を中心に、アユを中心とした温水性漁業資源の増殖を行う県立の河川環境研究所(仮称 川島町)の整備を河川環境楽園内に進めており、平成17年4月のオープンを目指しています。

#### 4 施策の効果(施策目標)

主に国土交通省等が実施する河川環境保全事業と有機的に連携することにより、県が実施する河川環境研究を効果的に進めることができ、人と水生生物が共存できる豊かな河川環境の再生と内水面漁業等産業の振興に寄与することが可能となります。

#### 5 要求の内容

国土交通省施設との連携を考慮した河川環境研究施設を整備するための基本設計、実施設計を行なうとともに、実施設計に基づき一部研究施設整備に着手します。

- ・基本設計、実施設計、工事監理委託費 ( 36,961千円)
- ・庁舎建設工事費 (582,624千円)
- ・建設工事事務費 ( 2,717千円)

#### 6 用語の解説

希少種:近年の河川環境の変化により、著しく個体数が減少し将来的に絶滅の恐れがある生物をいいます。

自然共生研究センター:独立行政法人土木研究所の附属機関(H11年オープン)で、主に河川工法の視点から河川環境の保全・再生に関する研究を実施しています。

温水性(魚種):アユ、ウグイ、ナマズ等の比較的水温の高い環境で生息する魚種をいいます。

#### 7 決定内容

- ・全体スケジュール
  - 15年度 基本・実施設計、建設工事(約60%)
  - 16年度 建設工事(約40%)、備品整備
  - 17年4月 研究開始
- ・15年度事業費
  - 基本・実施設計、工事監理委託費 23,500千円

建設工事費	442,000千円	(全体700,000千円)
土地造成費	9,054千円	
建設工事事務費	2,446千円	
合計	477,000千円	

建設工事費については、これまでに整備した他の県立施設の事例や他県の類似施設と比較検討し、所要額を精査のうえ予算措置した。